

令和4年3月田辺市長定例記者会見（市長挨拶説明・コメント）

第32回南方熊楠賞について発表いたします。

私ども田辺市民の誇りである南方熊楠翁の偉業を称え、田辺市と南方熊楠顕彰会が平成2年に制定しました南方熊楠賞も、本日ここに第32回南方熊楠賞受賞者を発表する運びとなりました。

回を重ねるにつれて、本賞は「知の巨人」南方熊楠翁の名を冠した賞にふさわしいものに育ってきた、と各界から高いご評価をいただいております。

ご存じのように南方熊楠賞は、翁の研究対象であった、民俗学及び博物学関係の分野において国内外を問わず顕著な業績のあった研究者を、人文部門、自然科学部門から毎年交互に選考し、賞状・トロフィー・副賞をお贈りしております。

今回の南方熊楠賞は、人文の部より賞を贈ることとし、選考委員会において慎重なご審議をいただいた結果、東京家政学院大学名誉教授で、食文化史がご専門の「江原 絢子（えはら あやこ）」先生に南方熊楠賞をお贈りすることに決定いたしました。

選考委員会においても、「調理という作り手の視点から日本の食文化を深く探求することにより、日本における食物史を開拓し、「和食文化」を学術領域として確立することに大きく貢献した。さらに、功績として特筆すべきは、学会活動を先導し、地方、女性、次世代への研究者養成に大きく寄与している点である。人びとの暮らしのまわりに広がる文化に対して文献渉猟と現地観察を徹底するというスタイルをとっており、その点で南方熊楠の精神に大いに通じていると言える」と評価されていることから、第32回南方熊楠賞にふさわしい受賞者であると、主催者としても喜んでいる次第です。

改めて、江原先生に、心よりお慶びを申し上げます。

なお、受賞者の江原先生並びに授賞式の詳細につきましては、このあと事務局から説明いたします。

最後に、本賞運営に際しまして、選考委員の先生方をはじめ関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも、本賞が全国的、国際的な学術・文化の振興に一層寄与いたしますことを、心から願っております。